

高知県第六次環境基本計画(案)の概要

環境基本計画とは

- 高知県環境基本条例第9条第1項の規定に基づく「高知県の環境の保全及び創造に関する総合的な計画」
- 本県の環境分野の個別計画に施策の基本的な方向性を示すものとして、地球温暖化対策や自然環境保全、廃棄物処理対策等の環境に関連する個別計画の最上位計画として位置付け 【計画期間:令和8~12年度】

策定のポイント

①: 「自然資本経営」による環境保全と資源活用の好循環の創出

- 国計画においては、「自然資本」を維持・回復・充実させることが、「新たな成長の基盤」となると位置付けられた
- 本県においては、自然資源・環境を「将来世代へ引き継ぐべき資本(自然資本)」と捉え、価値を見える化し、自然資本への適切な投資をすることで地域全体を経営する(マネジメントする、守る)視点を導入する
- この視点により取組を進めることで、「環境保全」と「資源活用」の好循環の創出を目指す

<本県における自然資本経営のイメージ図>



②: 高知県民の幸せ(ウェルビーイング)の実現

- 国計画においては、計画の最上位の目的として、環境保全を通じた国民の「ウェルビーイング/高い生活の質」が示された
- 本県においても、「自然環境の保全」が「県民の暮らし」の幸福度や生活の質の向上に繋がるといふ考え方は重要であることから、「高知県民の幸せ(ウェルビーイング)の実現」の視点を盛り込む

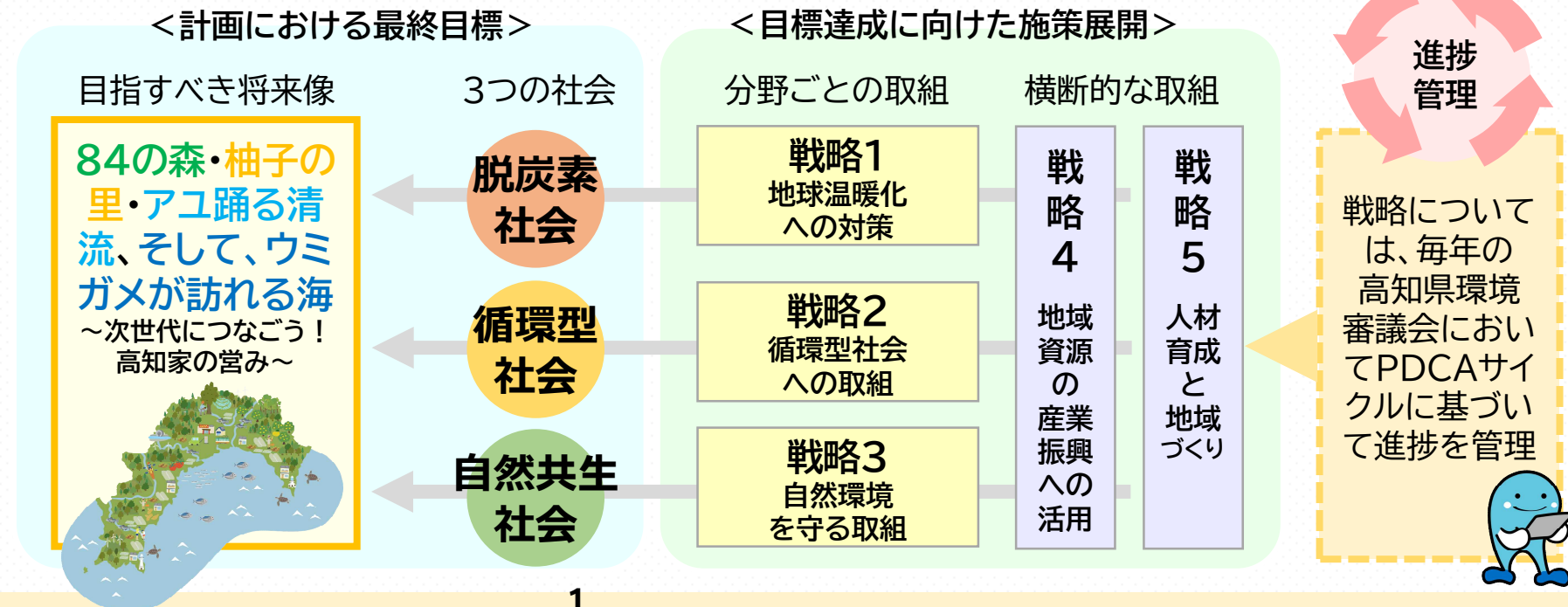
③: 第五次計画の評価を踏まえた戦略の強化

- 第五次計画の各施策に基づく取組の進捗状況や目標指標の達成度を踏まえ、戦略の見直しと強化を実施

計画の構成

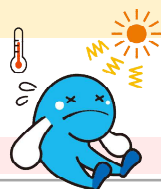
- 目指すべき将来像の達成に向け、基盤となる3つの社会(脱炭素・循環型・自然共生)の実現を目指す
- 将来像達成に向けては、5つの戦略による取組を推進
- 目指すべき将来像や戦略の実施には策定のポイント(自然資本経営など)を盛り込む
- 戦略の進捗管理は、毎年の高知県環境審議会により、PDCAサイクルに基づいて実施

<計画体系のイメージ図>



- 5つの戦略により施策や取組を実施することにより「目指すべき将来像の達成」を目指す
- 分野ごとの取組である戦略1から3には、戦略全体の目標として「政策目標(KGI)」を設定し、一体的な進捗管理を図る

戦略1 地球温暖化への対策



政策目標 (KGI)

温室効果ガス排出量の削減率

概要

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた全県的な連携として、森林吸収源対策と建物の木造化の推進による都市の脱炭素化や、事業活動における省エネルギー化の促進による産業振興と脱炭素化を目指した取組を進める。
また、適応策の推進や、豊富な自然資源を生かした再生可能エネルギーの導入に向けた取組を推進する。

- <主な取組>
- 省エネ住宅やZEB・ZEHの推進
 - 豊富な自然資源を生かした再生可能エネルギーの導入促進
 - 公共交通機関の利用促進
 - 地球温暖化への適応策の推進

戦略2 循環型社会への取組



政策目標 (KGI)

一般・産業廃棄物の排出量及びリサイクル率

概要

資源の有効活用や3Rの推進、各種リサイクル法に基づく取組を通じて、環境への負荷の少ない循環型社会の実現を目指した取組を進める。
海洋ごみ問題には、様々な視点から県下全域で取組を推進する。また、ごみの最終処分までの周知等により、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取組を推進する。

- <主な取組>
- リデュース、リユース、リサイクルに関する普及啓発
 - プラスチックの資源循環の推進
 - 産業廃棄物の適正処理、一般廃棄物の処理体制の確保
 - 清掃活動への支援と県民一斉美化活動の実施

戦略3 自然環境を守る取組



政策目標 (KGI)

自然環境を守る取組への参加経験がある県民の割合

概要

森里川海の生態系の保全や希少野生動植物の保護、適切な森林管理を通じたCO2吸収機能を増進を目指した取組を進める。
また、環境影響評価制度や文化環境評価システムを活用して、開発事業に係る周辺の環境や動植物などへの影響の低減に向けた取組を推進する。

- <主な取組>
- 希少野生動植物の保全(外来生物による被害防止)
 - 動植物の情報収集と標本の適正管理
 - 野生鳥獣の保護・管理
 - 多自然川づくりの推進

戦略4 環境保全を基盤とした地域資源の産業振興への活用



概要

高知県の恵み豊かな地域資源を活かした産業振興を推進する。
また、GX等の動きを踏まえてグリーン経済やエネルギーの地消地産の取組を推進する。

- <主な取組>
- 建築物への木材利用の推進
 - 脱炭素化につながる新たな製品、サービスの開発等の支援
 - エネルギーの地消地産に向けた取組

戦略5 環境を守り次世代へつないでいくための人材育成と地域づくり



概要

学校をはじめ、各主体がより多くの県民に環境学習や環境保全活動に触れる機会を提供し参加を促すとともに、環境問題について積極的に情報発信を行うなど、県民の環境活動を活発化するための基盤づくりに向けた取組を推進する。

- <主な取組>
- 幼少期・青少年期における環境教育の充実
 - 環境学習や環境保全活動に関する普及啓発や情報提供